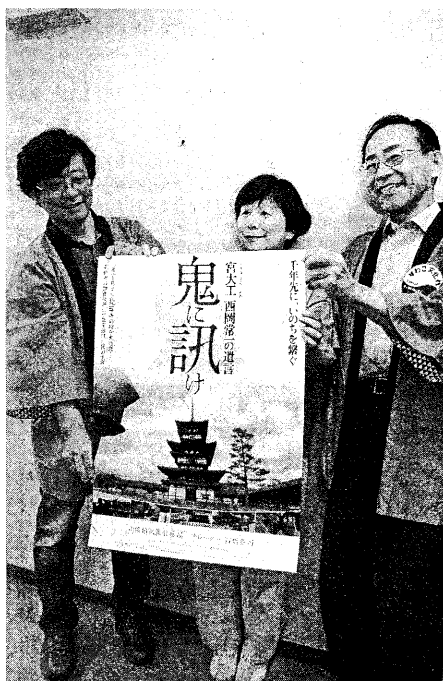


長野日報

宮大工の生涯に迫る

30日岡谷で映画上映会



ポスターを手に来場を呼び掛けるすわこ文化村の関係者

法輪寺三重塔や薬師寺金堂（08〜05年）の生涯を記録
・西塔の再建を手掛けた宮大工棟梁、西岡常一さん（19「鬼に訊け」宮大工西岡常一

の遺言」の上映会が30日、岡谷市長地権現町の諏訪湖ハイツで行われる。

西岡さんは、国宝の法隆寺金堂や五重塔の解体修理を手掛け、薬師寺金堂の再建や三蔵新伽藍の建築などに生涯をささげた奈良県出身の宮大工。飛鳥時代の古代建築工法で大伽藍を造営できる「最後の宮大工棟梁」と呼ばれた。

映画は山崎佑次氏が監督を務め、2011年に公開された。かつて「鬼」の異名を取った西岡さんの最晩年に密着。がんに侵されながら後輩に教えを授ける西岡さんを通じて、速さと量を競う現代文明とは異なる日本人の英知と技術が紹介される。

上映会は、文化企画を通じて人と人のつながりを再生する非営利活動団体「すわこ文化村」が主催。毛利正道代表理事は「災害列島を生き抜いてきた原点『ものづくり』の

季節だより

魂と絆を実感できる。大震災後のあり方をも示唆している映画だと思う」と話す。

上映は同日午前10時、午後1時30分、午後5時の計3回。参加費は前売り・予約が1000円、当日券は1200円（中学生は一律500円）。問い合わせは文化村（電話080・1040・7463）へ。（唐沢宏）

茅野市役所 周辺を清掃

諏訪大社RCとボーイスカウト日本ボーイスカウト茅野第1団（小池幸夫団委員長）と諏訪大社ロータリークラブ（伊藤博之会長）は17日、茅野市役所周辺で合同の清掃奉仕活動をした。両団体から約35人が参加。カーブミラー磨きやごみ拾いに精を出し、地域の環境美化に貢献した。同クラブは、育成団体とし